

心遣いに感謝いたします Vol.6

昨日から11月（霜月）に入りました。季節も晩秋へと一気に進み、朝、夕の冷え込みも、徐々に増してきました。冬の足音が、すぐそこまで聞こえてきたようです。

2日前の日曜日には、ハロウィン、そして、選挙も終わりました。選挙期間中は、ニュースや新聞報道の内容が選挙一色となり、新型コロナウイルスが取りあげられることが希薄になった感がありました。しかし、新規感染者数が減っているとは言え、今後も感染状況や新政府の新型コロナウイルスへの施策に高くアンテナを張らなくてはと思っています。

また、校内の行事では、11月19日に6年生のクラス発表会（授業参観）、11月29日、30日、12月2日、6日には個人懇談会（作品展示週間）が予定されています。どちらの行事も安全に留意する中で、実りと成果を願い、成功裏に終えたいと思っています。どうぞ引き続き、本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いします。

校長室に生けられた、ピンク色の菊と、のばらの実です。ピンク色の菊の花はボールのような丸い形になっていて、ポンポン咲きと言われます。やはり菊は秋を代表花。でもシーズン終盤かな？寂しいです。

下の周囲を飾る枝物は、野薔薇の実です。赤い小さな実がとてもかわいらしいです。花言葉は、「素朴な愛」です。



児童下足室前の廊下の角に生けられた、とても優雅な感じのする生け花です。背の高い枝物は、校長室のと同じ野薔薇の実です。この実は、ローズヒップという紅茶のもとにもなります。下の葉物は、ハラン（後部）とモンステラ（前部）です。ハランは、殺菌・消毒効果があるので和食で、料理のお皿や、しきりによく使われます。モンステラは葉に切れ込みのある人気の観葉植物です。

右の樹木は、通用門近くにある鉢植えのゴールドクレストです。ヒノキ科の植物で、葉を手でなでると、爽やかな香りが漂います。柑橘系？・山椒？人によって感じ方は様々なようです。野薔薇の実と同様に、この樹木を見るとクリスマスを連想します。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。感謝申し上げます。